



北部第一・第二発電所

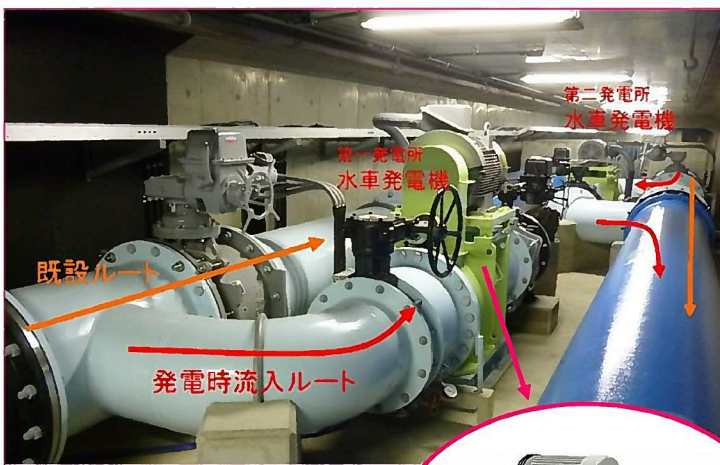
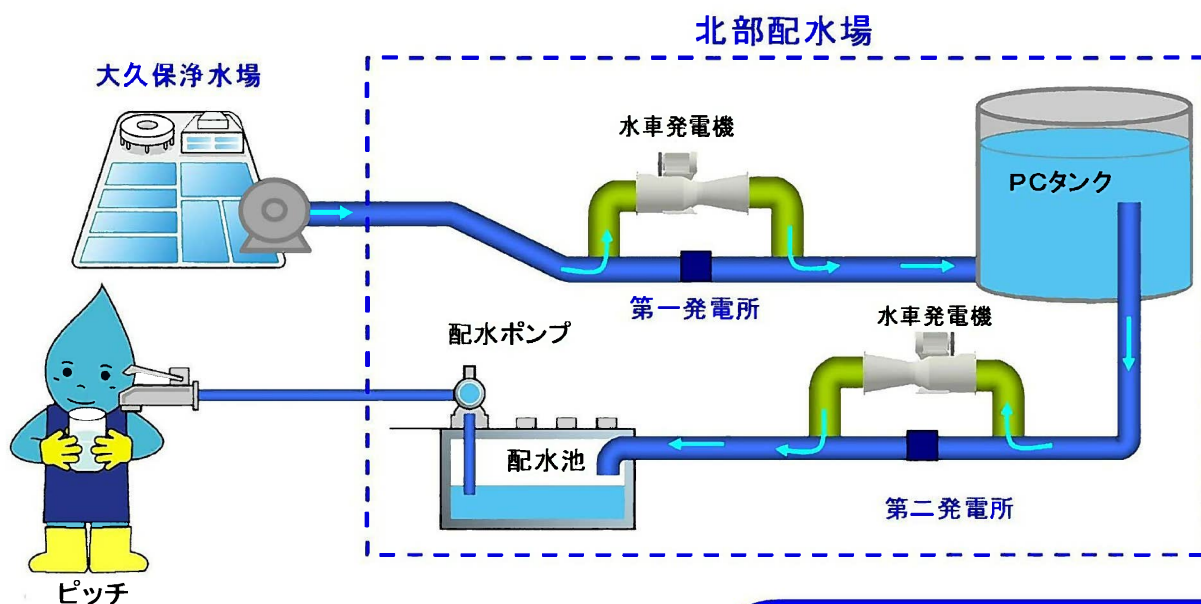


『北部第一・第二発電所』は、再生可能でクリーンなエネルギーである水力を利用した小水力発電施設であり、電力の一部を自給することで、環境への貢献を目的に北部配水場内に設置しています。

第一発電所は、埼玉県大久保浄水場から送られる水の圧力と流量を利用して、第二発電所は北部配水場の二つの水槽(PCタンクと配水池)の水位差を利用して、発電しています。

この施設は、さいたま市水道局が水力エネルギーを提供し、共同事業者である東京発電株式会社が水道施設の一部を利用して、建設・運転・保守を行うものであり、発電した電力は北部配水場内の動力として自家消費しています。

北部第一・第二発電所のしくみ



北部第一・第二発電所諸元

最大出力：70kW・35kW
 年間発電電力量：約76万kWh※
 水車：横軸プロペラ×2
 最大使用水量：0.550(m³/s)
 0.614(m³/s)
 有効落差：18.36m・9.15m
 運転開始：平成23年11月

※ 発電電力量に伴う環境付加価値は、グリーン電力証書システムにより第三者に移転します。